

# 東京学芸大学 合同ゼミナール向け L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X クラスファイル

題目 (副題) はこの行に記入してください。副題がない場合はこの行は空白にしてください。

〇〇大学 〇〇講座 〇年 佐藤 克己

キーワード: T<sub>E</sub>X, クラスファイル (重要度順に 3 つ程度記載してください)

## 章のタイトル

研究背景や研究目的を記入してください。行数は適宜ご調節ください。

### テンプレート全体についてのご案内

- 抄録は A4 用紙 1 枚 (Word or PDF 形式)
- ページ余白は上下左右 2.5cm
- 発表題目, 学籍番号, 所属講座, 学年, 氏名, 配置大学をご記入ください。
- 内容の「見出し」は専攻ごとに形式が異なるので, 適宜ご調整ください。(学校心理専攻の例: 目的, 方法, 結果, 考察, 引用文献)

### テンプレート全体についてのご案内

研究結果あるいは考察について記入してください。行数は適宜ご調節ください。

## 1 箇条書き

第 1 位. つぶ貝

第 2 位. 赤貝

第 3 位. ミル貝

1 は...

第 1 位. マグロ

第 2 位. カツオ

第 3 位. サーモン

お寿司 その 1 は...

## 2 引用

[1]

[2]

## 3 図

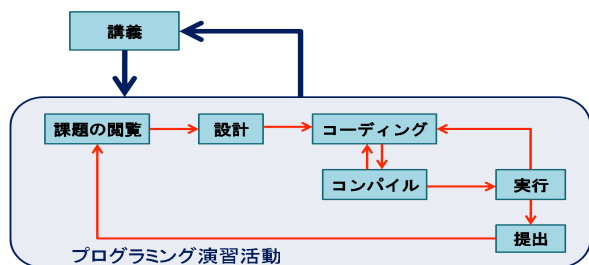


図 1 サンプル画像 (PDF)

画像の参照は, 図 1, 図 2 のように行う。

## 4 表

表の例を表 1, 2 に示す。

	理解活動	モデルにおける活動場所
1	エラー解決時	コーディング・コンパイル時
2	課題の回答時	演習活動全般
3	支援システムの利用時	主に考える一実行時
4	学習者同士の話し合い時	活動全般
5	教授者やTAによる指導時	主に講義時
6	個人による学習時	

図 2 サンプル画像 (PNG)

表 1 表の例

ヘッダ 1	ヘッダ 2	ヘッダ 3
データ 1	データ 1-1 データ 1-2	✓
データ 2	データ 2-1 データ 2-2	
データ 3	データ 3-1 データ 3-2 データ 3-3	
データ 4	データ 4-1	✓
データ 5	データ 5-1 データ 5-2	✓

表 2 表の例

ヘッダ 1	ヘッダ 2	ヘッダ 3
データ 1	データ 1-1 データ 1-2	✓
データ 2	データ 2-1 データ 2-2	
データ 3	データ 3-1 データ 3-2 データ 3-3	
データ 4	データ 4-1	✓
データ 5	データ 5-1 データ 5-2	✓

## 5 コメントアウト

### 参考文献

- [1] 佐藤克己, “東京学芸大学 計算機科学研究室 (宮寺研究室) L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X クラスファイルの開発,” 東京学芸大学 合同中間発表会 予稿集, vol.99, no.99, pp.100–110, 2016.

- [2] 奥村晴彦, L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X2e 美文書作成入門 改訂第 6 版, 技術評論社, 2013.